

## 令和7（2025）年度第1回学校給食共同調理場運営委員会 会議概要

1 日時 令和7（2025）年6月13日(金) 午後2時30分から午後3時50分

2 会場 柏崎市役所 1階 多目的室

3 学校給食共同調理場運営委員 10名

1号委員 校長

田尻小学校長[会長] 北条中学校長[副会長] 剣野小学校長

2号委員 保護者であるPTA役員

柏崎小PTA副会長 第二中PTA会長 鏡が沖中PTA副会長

第三中PTA副会長 二田小PTA会長

3号委員 保健所長又は保健所長が指名する保健所職員

柏崎保健所地域保健課主任

4号委員 学識経験者

新潟県栄養士会柏崎支部選出者

【欠席者：北条中学校長、二田小PTA会長】

※委員10名のうち過半数出席により成立

4 事務局 柏崎市教育委員会教育総務課 6名

教育総務課長（兼学校給食共同調理場長） 学校給食係長 学校給食係4名

5 共同調理場栄養士 8名

中央調理場2名 南部調理場1名 西部調理場1名

北部調理場2名 東部調理場1名 西山調理場1名

【欠席者：中央調理場1名、北部調理場1名、西山調理場1名】

6 報告・協議事項

(1) 令和6（2024）年度学校給食会計 ……承認

(2) 令和7（2025）年度学校給食共同調理場の運営 ……承認

① 学校給食調理場の概要

② 学校給食関係予算及び主な事業等

- ③ 学校給食費
  - ④ 学校給食物資納入業者
- (3) その他

## 7 質問事項

1号委員：北部地区学校給食共同調理場の施設能力が1,500食と記載があるが、現在約1,450食を提供しているとのこと、他の施設と比べて余裕が無いように見えるが、問題ないのか。

事務局：記載には施設能力1,500食とあるが、実際には1,750食程度、対応できるものと考えている。調理場の規模としては問題ない状況である。

2号委員：米飯について、コシヒカリや新之助を使用しているとのことだが、給食費がひっ迫した時に安価なものを使う考えがあるか。

事務局：米の価格については市場価格に比べて、給食で使用している価格については若干安価であるため、コシヒカリを使用していく考えである。ただ、価格の高騰がさらに厳しくなるようであれば、検討していかなければならない。地産地消の面からも使用していきたいと考えている。

1号委員：他の市町村では米飯が週2～3回でパン・麺類が多いところがあり、主食の値段を下げていていると考える。昨年度は給食費について市からの補助があったが、今後、米飯の回数を減らすことも考えられるか。

事務局：市の補助については、国からの交付金を活用している状況である。また、農林水産課が地産地消の観点から米の購入費用を一部負担している状況である。

事務局：主食の米飯週4回、コシヒカリの使用を基本とし、国の交付金の活用、他部署との連携、栄養士との連携、色々な工夫をしながら給食の水準を維持していく。場合によっては保護者の皆さんに相談することもあるが、現状の水準を維持していく考えである。

2号委員：学級閉鎖等で給食が休止となった場合の食材の処分についてどうしているのか。

事務局：急に給食が休止となった場合の食材は、調理場の受配校でその分を使用したり、保育施設等で使用したりして、食品ロスを出さないようにしている。3日目からは食材が止められるため、それ以降については給食費の返還を行っている。